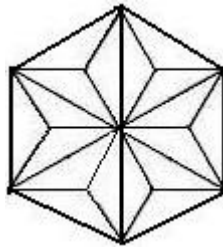
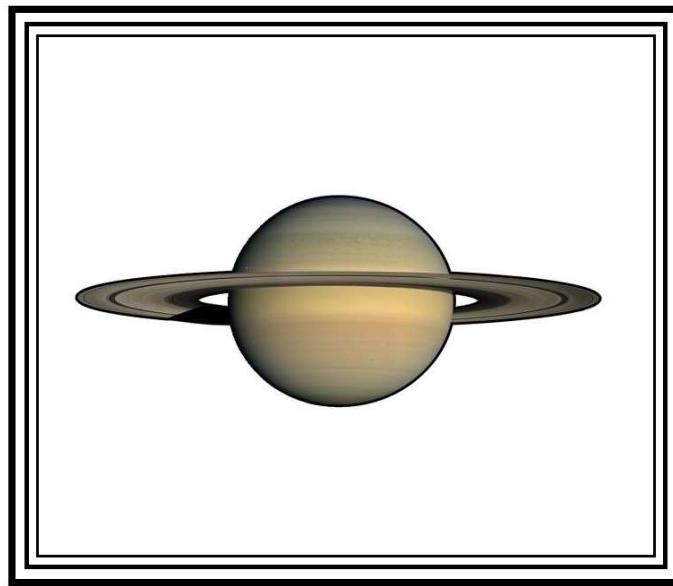


天城流湯治法・指導者育成
研修テキスト
(躰起点・筋膜起点・靭躰起点)



一般社団法人 天城流湯治法協会

本コンテンツは、著作権法で保護されている著作物です。その取扱いにつきましては、以下の点にご注意ください。

本コンテンツに含まれる情報は、著作権法により保護され、また秘匿性の高い内容であることも踏まえ、本講座受講者及び映像購入者は、その情報を「杉本進」の書面による許可を得ずして、一般公開してはならないものとします。

- ・複製（コピー）
- ・出版
- ・講演
- ・コンサルティング活動
- ・電子メディア（インターネット、携帯端末等）による配信
- ・オークション等への出品、転売等

あらゆる形式において公開を禁止いたします。

本講座受講者及び映像購入者は、自らの事業所（院、サロン等）、及び直営組織（分院、支店等）においてのみ本コンテンツに含まれる情報を使用できるものとします。

本講座受講者及び映像購入者が、この規定に違反した場合、「杉本進」は、直ちに法的措置を取らせていただくこととなりますので、くれぐれもご注意ください。

【重要確認事項】

「天城流湯治法オンラインスクール動画コンテンツ」及び「天城流湯治法オンラインスクール テキスト」の内容をご覧になった時点で、下記の免責事項をご承諾頂いたものとみなさせていただきます。

《免責事項》

「杉本進」は、教材内の情報を活用された際、第三者に何らかの損害が発生したとしても、その損害については一切の責任を負うものではありません。

教材内の情報やデータは「杉本進」個人の感想や経験であり、効果効能を保証するものではありません。

特に各種法律には十分にご注意頂き教材をご活用下さい。

※一部画像提供「チームラボ」

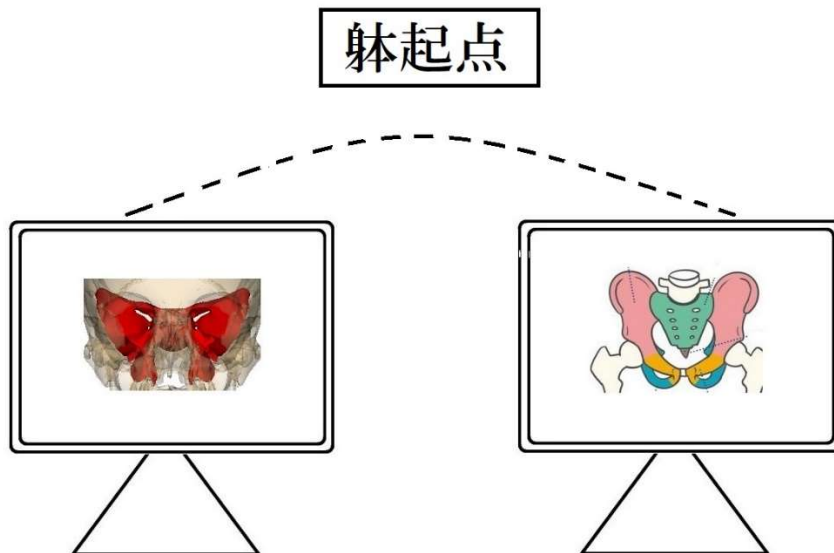
躰起点・筋膜起点・靭帯起点

躰起点

躰起点はからだの器官の共振、人体のフラクタル、よく似たからだの器官どうしが、作用しあう現象

例えば

頭部にある蝶形骨をゆるめると腰の部分の寛骨がゆるむ



天城流の躰起点はいくつものフラクタルを発見して

ピックで刺激を送り、共振させて作用させている

※ 氣を送るのもこのフラクタルの部分に向かって送ることもある

筋膜起点


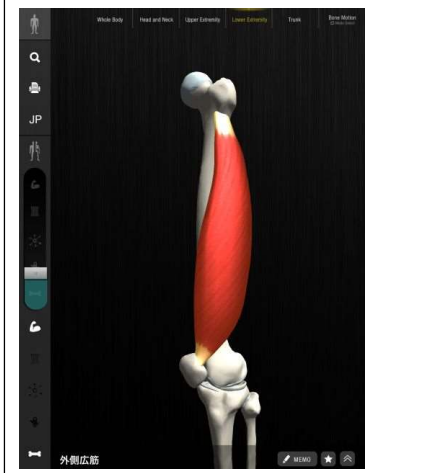
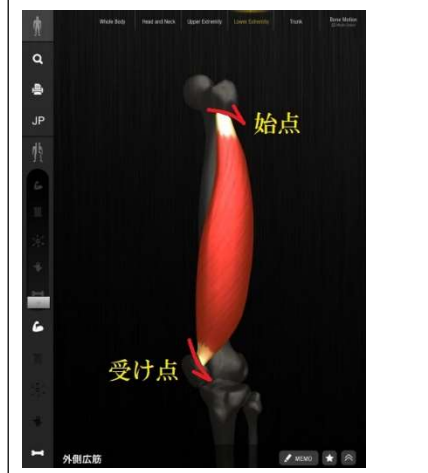
筋膜起点は骨にくっついた筋膜はからだに近くくっついた部分を始点と呼び、つながっている部分を受け点と呼ぶ、始点と受け点をピックできるとその筋膜がゆるみほぐしやすくなる

筋膜起点



(1)

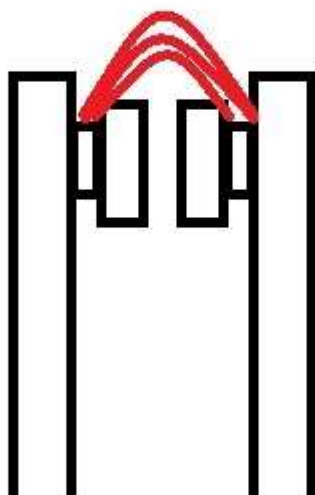
外側広筋の筋膜起点をきる

		
<p>外側広筋</p>	<p>寛骨に近い大腿骨から 膝蓋骨までつながっている</p>	<p>寛骨にくっついている側を 始点、膝蓋骨にくっついている 側を受け点と呼ぶ</p>

靭帯起点

靭帯は関節の骨と骨をつなげている腱で関節を保護すると共に筋膜の動きを円滑にしている骨にくっついている部分をからだに近い部分は始点、つながっている側を受け点と呼び
その付け根をピックや爪先できると靭帯はゆるむ




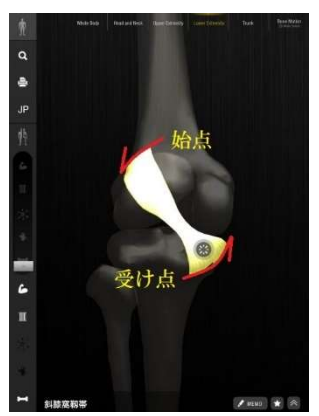
靭帯起点



※ 靭帯どうしの共振はおこらない

骨と骨をつなぐ靭帯は共振し合う様な状態にあると負担がかかる関節など敏感になってしまうからだ

膝裏の斜膝窩靭帯の靭帯起点をきる

			
膝裏	膝裏の膝関節群	斜膝窩靭帯	からだに近い側を 始点と呼ぶ つながっている側を 受け点と呼ぶ

骨膜筋、皮膚膜筋、内臓膜筋

骨膜筋

骨膜筋は骨の膜にくっついている筋(すじ)で骨を支える筋膜以外に更にスムーズに細かい動きを支える繊維質の筋(すじ)

皮膚膜筋

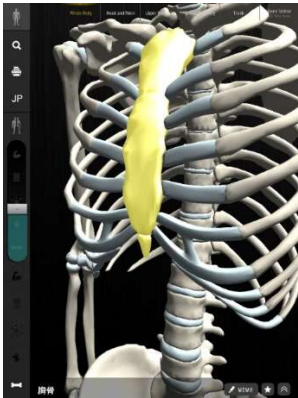
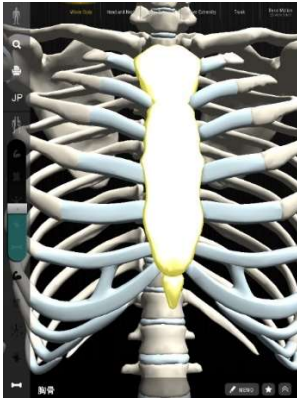

皮膚を保護するための皮膚にくっついている筋(すじ)際限なく皮膚が伸びてしまわないように筋がくっついていて皮膚の弾力を支えている

妊娠線や肥満による皮膚の断裂はこの皮膚膜筋の断裂で起きる


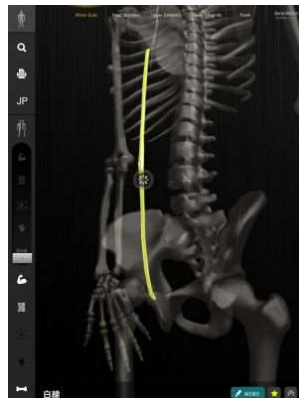
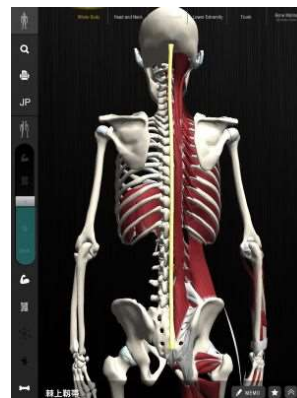
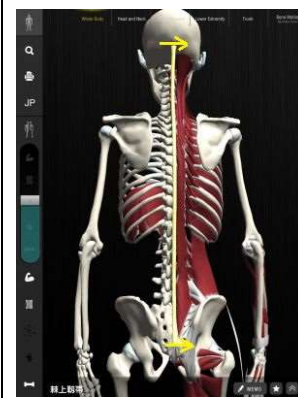
内臓膜筋

内臓の周りにくっついている筋(すじ)で内臓を保護するのと同時に内蔵の位置を保持するための筋(すじ)様々な要因で内臓疾患を起こすのはこの内臓膜筋が萎縮して硬く硬縮したとき血液・リンパ液の循環が悪くなって内臓疾患を起こしてしまう

骨と仙骨の関係

	
	<p>胸骨と仙骨は 胸骨の縦の長さは若干違いがあるものの 形状は全く同じで 仙骨が緩むと胸骨も緩みやすくなる 骨盤調整のメソッドで仙骨を緩めると 胸骨から横に向かっている肋骨も緩み 呼吸がしやすくなるのと同時に 内臓全体が活性化する</p>

白線と棘上靭帯の関係

 <p>白線</p>	 <p>白線</p>	 <p>棘上靭帯</p>	 <p>棘上靭帯</p>
---	---	--	---

咀嚼不足によって胃腸が下腹部に下がってしまうと内臓と共にお腹の前部にある白線が巻き込まれ、引っ張られて緊張して硬くなる

それと同時に白線も恥骨の内側に巻き込まれて恥骨が持ち上げられて高くなる・・・恥骨が前面に飛び出ているのはこのせいである

その影響で背中の背骨の上にある棘上筋も引っ張られて硬くなる

棘上筋の脛起点をピックできて棘上筋が緩むと同時に白線も緩む